



熊本県の金融経済概観

(2020年9月4日)

1. 概況

熊本県内の景気は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症などの影響により、厳しい状態が続いている。先行きについても、当面、厳しい状態が続くとみられる。

最終需要面をみると、個人消費は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、全体としては弱い動きとなっている。この間、観光は、極めて厳しい状態となっている。住宅投資は、弱い動きとなっている。また、公共投資は、横ばい圏内で推移している。設備投資は、弱めの動きとなっている。

生産面をみると、弱い動きとなっているものの、一部に持ち直しの動きがみられている。

雇用・所得面をみると、弱めの動きとなっている。

この間、7月の消費者物価指数（熊本市、生鮮食品を除く総合、前年比）は▲0.3%と、4か月連続で下落した。

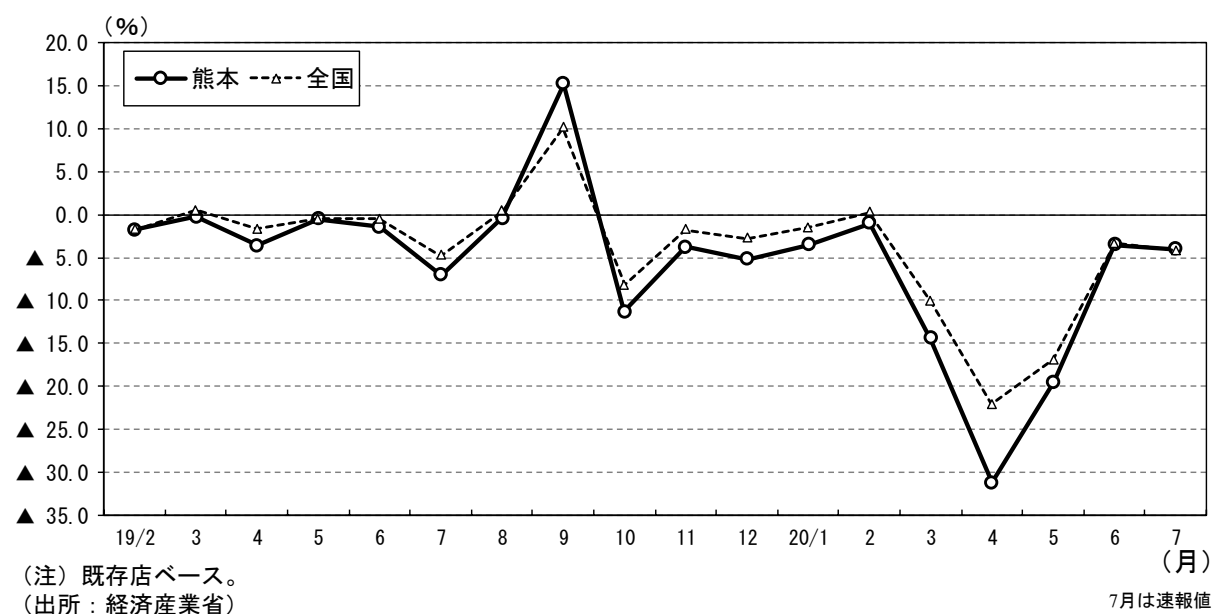
2. 個人消費

個人消費は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、全体としては弱い動きとなっている。

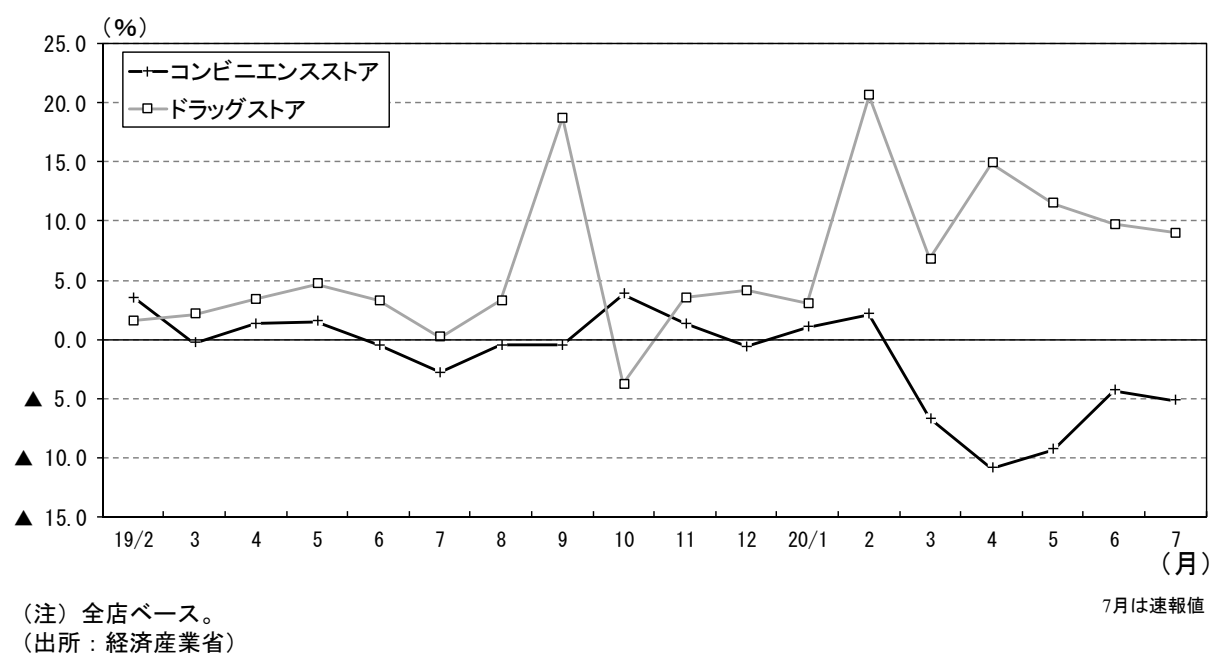
7月の百貨店・スーパー販売額は、来店客数の減少により、前年を下回った。7月の乗用車の新車登録台数（含む軽）は、来店客数の減少により、前年を下回った。7月の家電販売額は、在宅時間の長期化に伴う買い替え需要により前年を上回った。

観光は、極めて厳しい状態となっている。

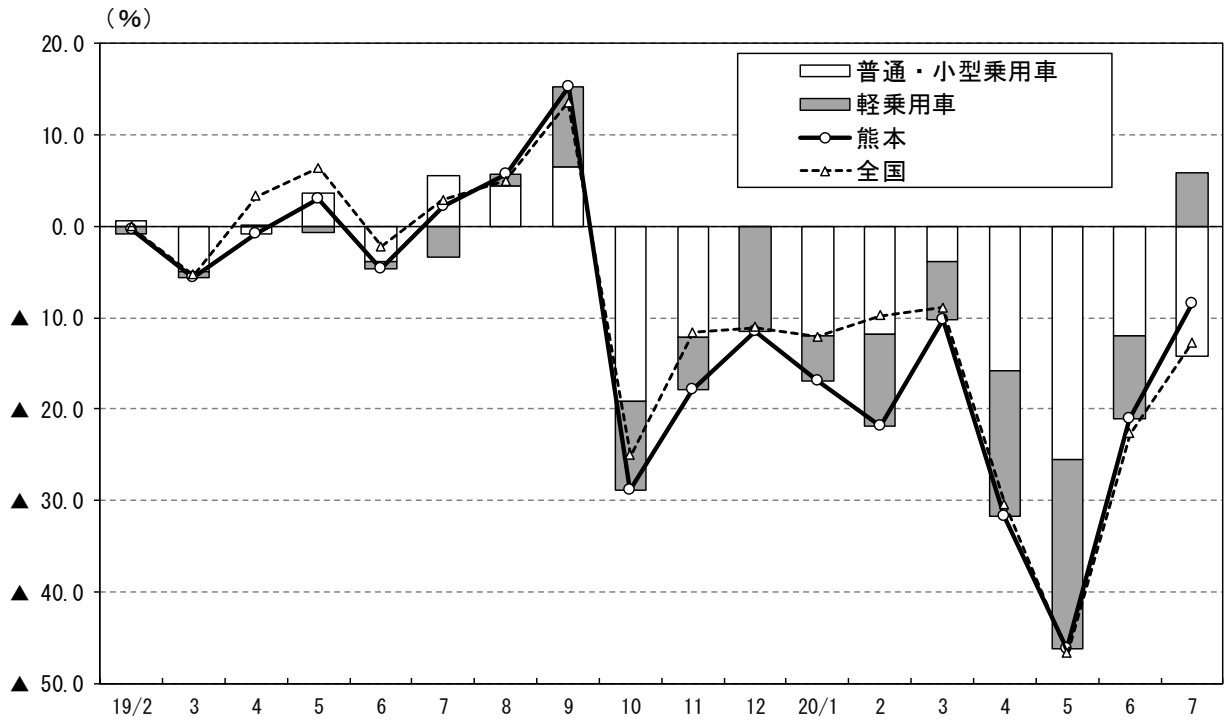
＜百貨店・スーパー販売額前年比＞



(参考) ＜コンビニエンスストア・ドラッグストア販売額（熊本）前年比＞



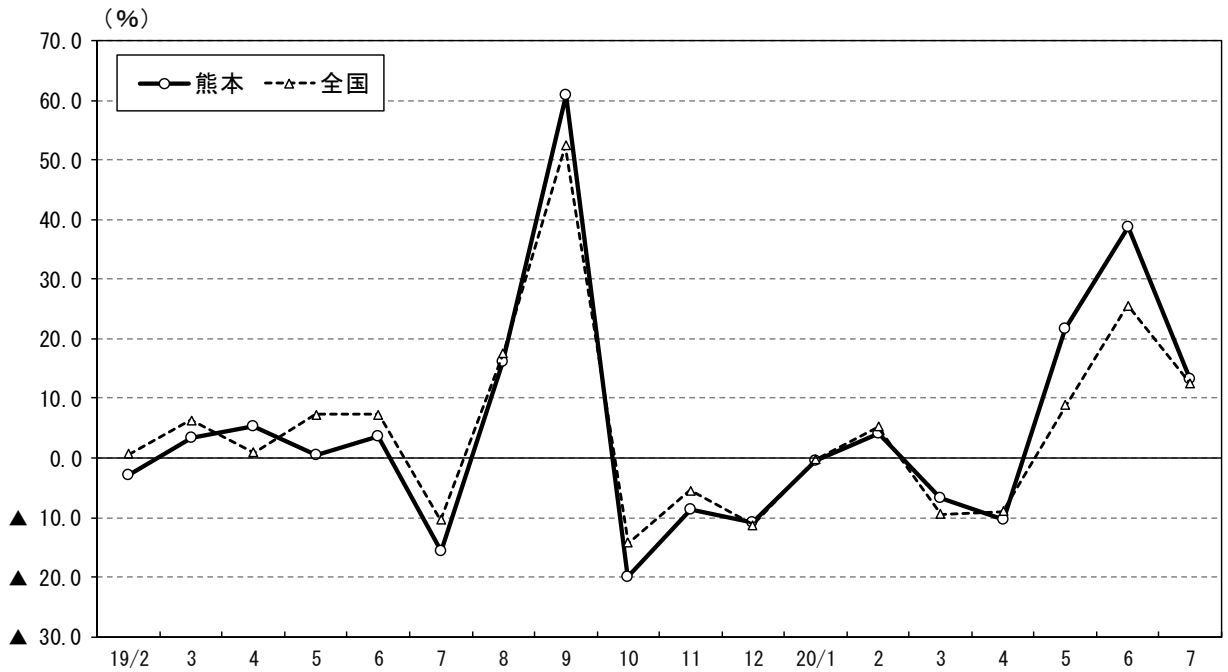
＜乗用車新車登録・販売台数前年比寄与度＞



(出所：九州運輸局熊本支局、熊本県軽自動車協会、日本自動車販売協会連合会)

(月)

＜家電大型専門店販売額前年比＞



(注) 全店ベース。

(出所：経済産業省)

(月)

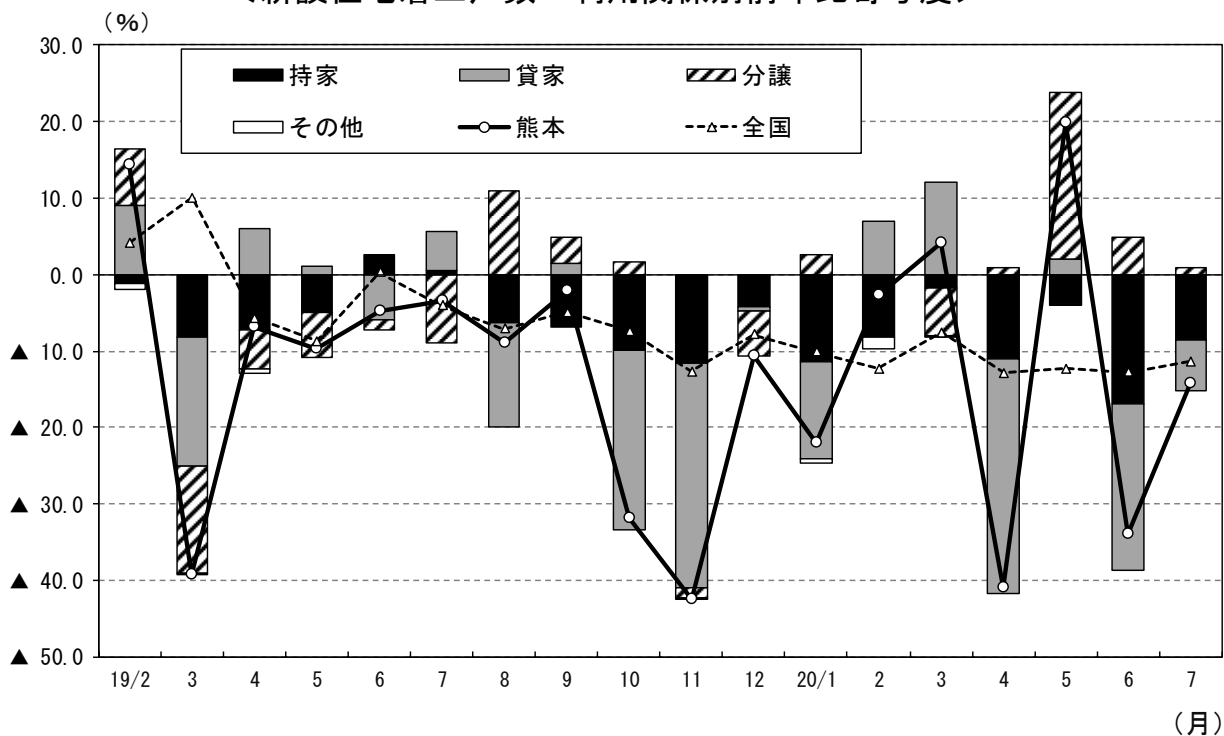
7月は速報値

3. 住宅投資

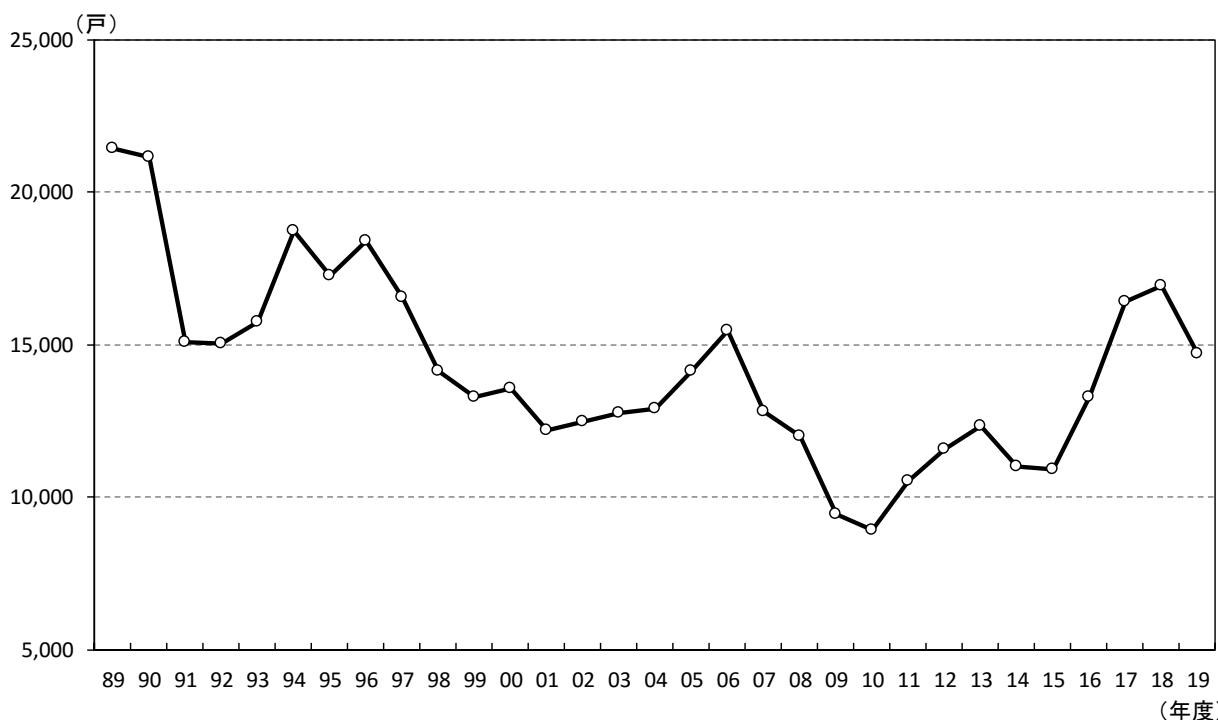
住宅投資は、弱い動きとなっている。

7月の新設住宅着工戸数は、持家や貸家の減少により、前年を下回った（7月：前年比▲14.3%）。

＜新設住宅着工戸数・利用関係別前年比寄与度＞



＜新設住宅着工戸数（年度ベース）＞



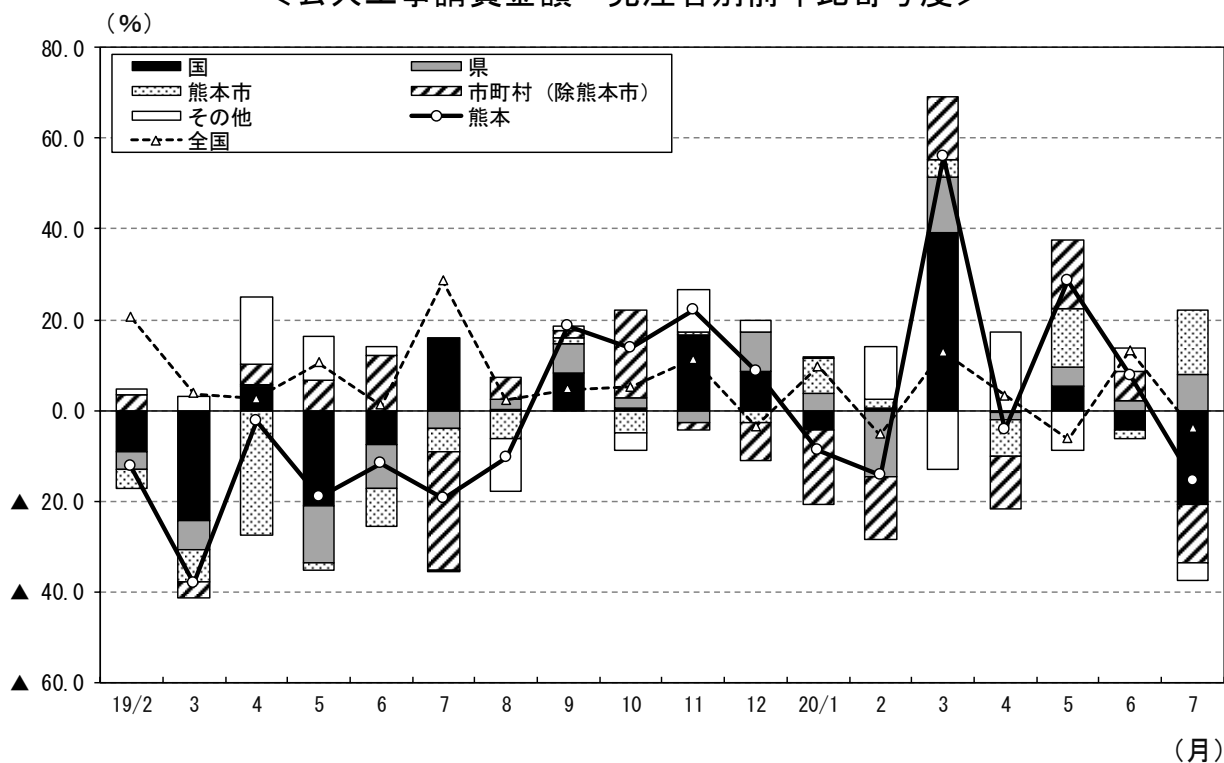
(出所：国土交通省)

4. 公共投資

公共投資は、横ばい圏内で推移している。

7月の公共工事請負金額は、国やその他市町村を中心に、前年を下回った（7月：前年比▲15.5%）。

＜公共工事請負金額・発注者別前年比寄与度＞



＜公共工事請負金額（年度ベース）＞

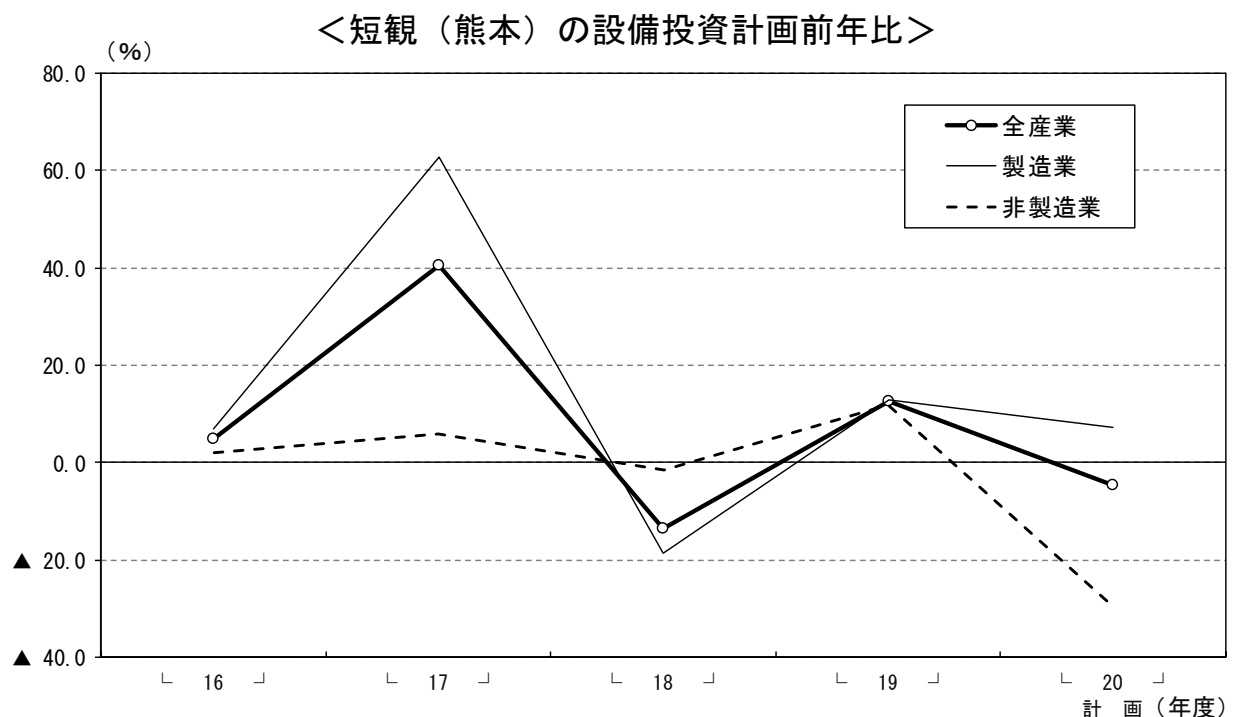
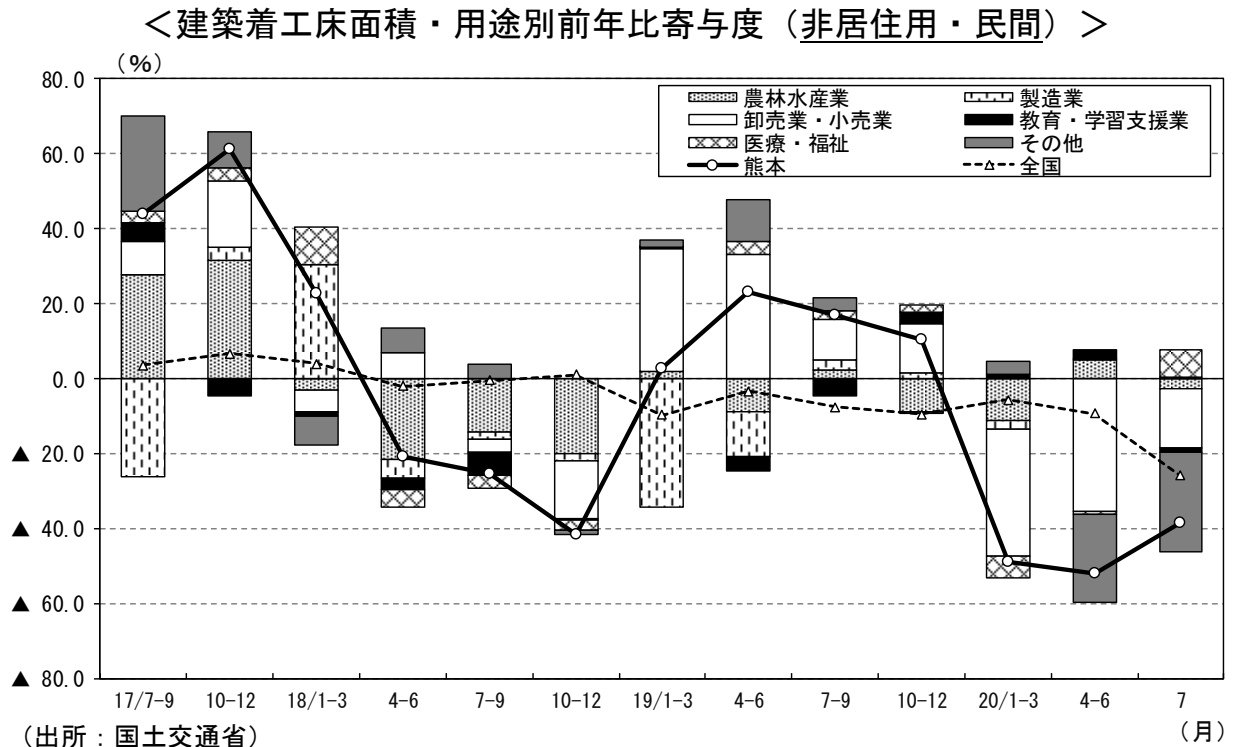


(出所：西日本建設業保証、東日本建設業保証)

5. 設備投資

設備投資は、弱めの動きとなっている。

7月の建築着工床面積（非居住用・民間）は、卸売業・小売業を中心に、前年を下回った（7月：前年比▲38.4%）。



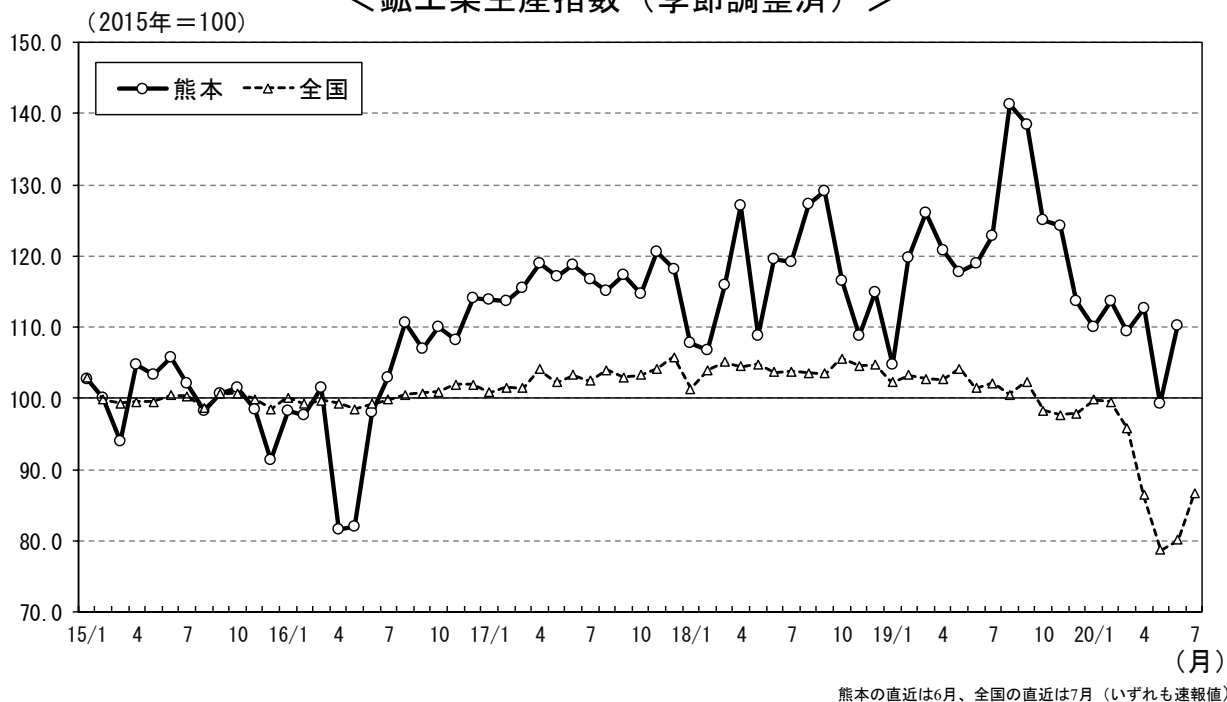
(注) 20年度計画は2020年6月調査時点の計数。
(出所：日本銀行)

6. 生産

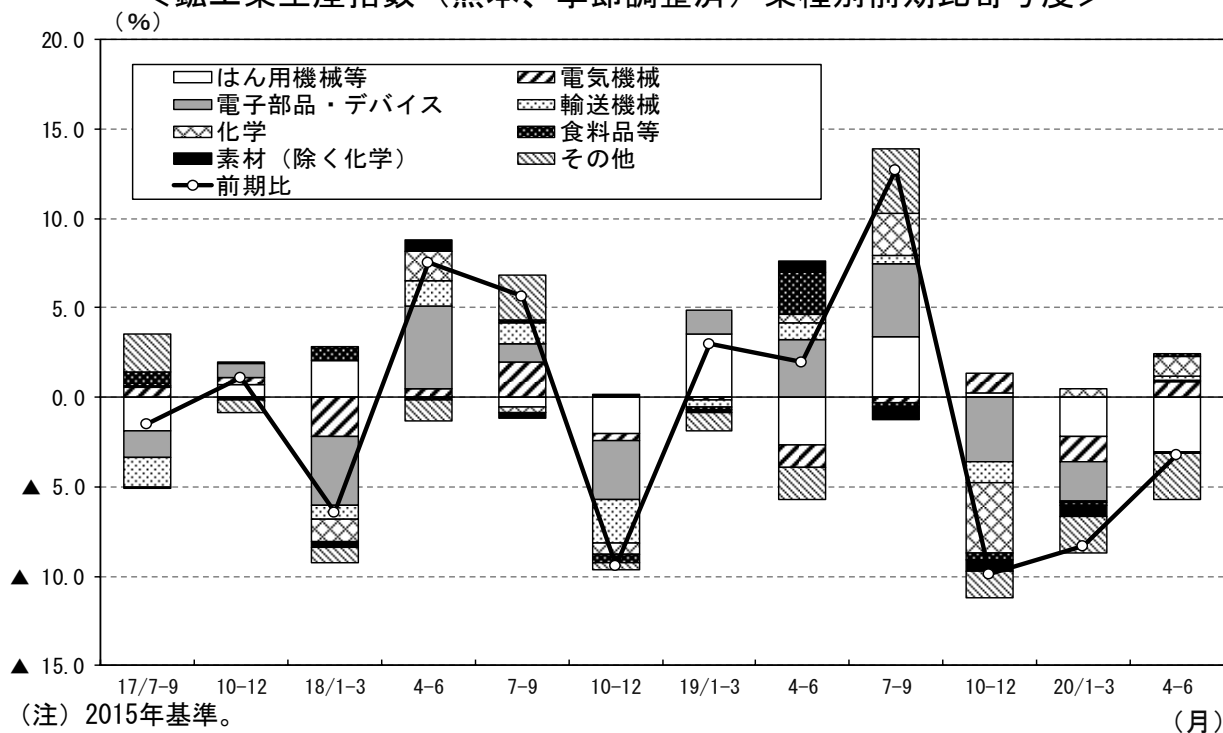
生産面をみると、弱い動きとなっているものの、一部に持ち直しの動きがみられている。

6月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、「はん用機械等」を中心に、前月を上回った（6月：前月比+11.1%）。

＜鉱工業生産指数（季節調整済）＞



＜鉱工業生産指数（熊本、季節調整済）業種別前期比寄与度＞

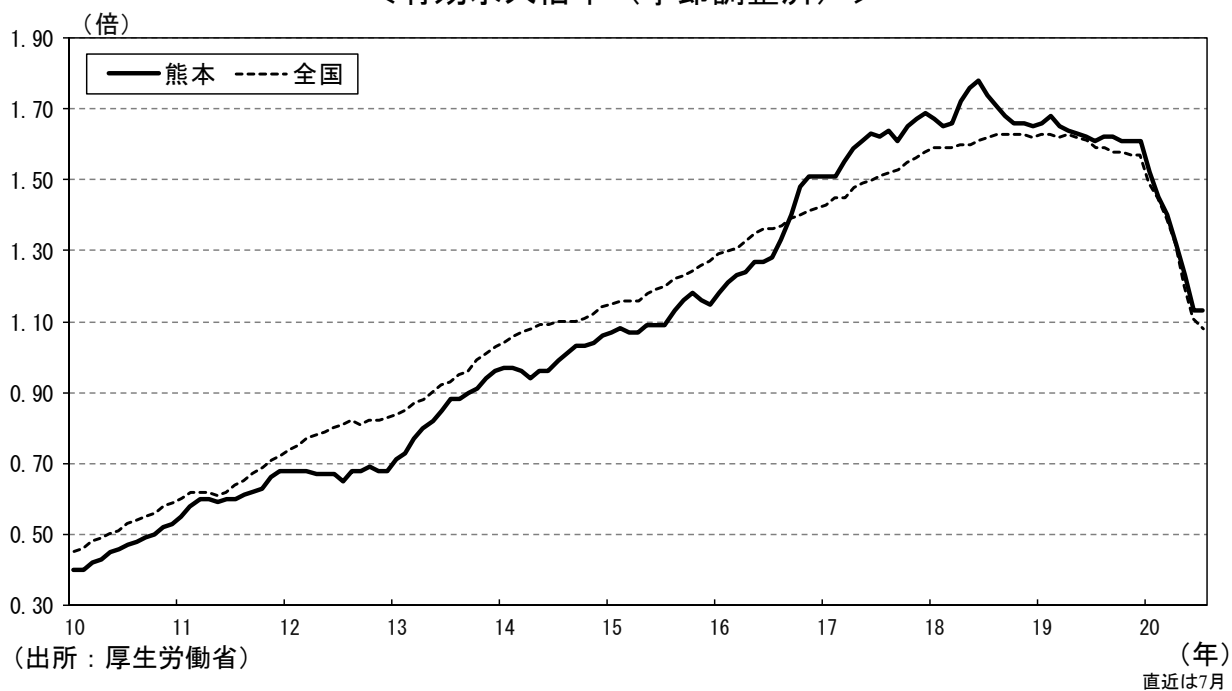


7. 雇用・所得

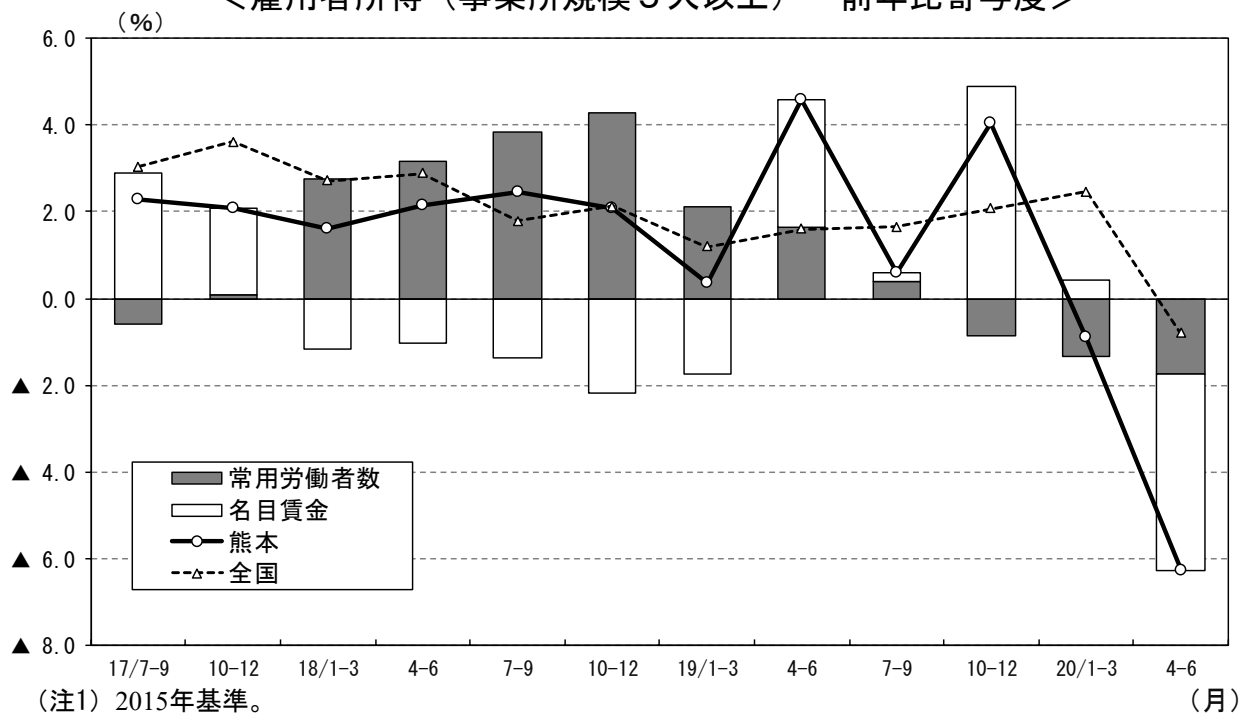
雇用・所得面をみると、弱めの動きとなっている。

7月の熊本県の有効求人倍率（季節調整済）は、1.13倍と前月から横ばいとなった。

＜有効求人倍率（季節調整済）＞



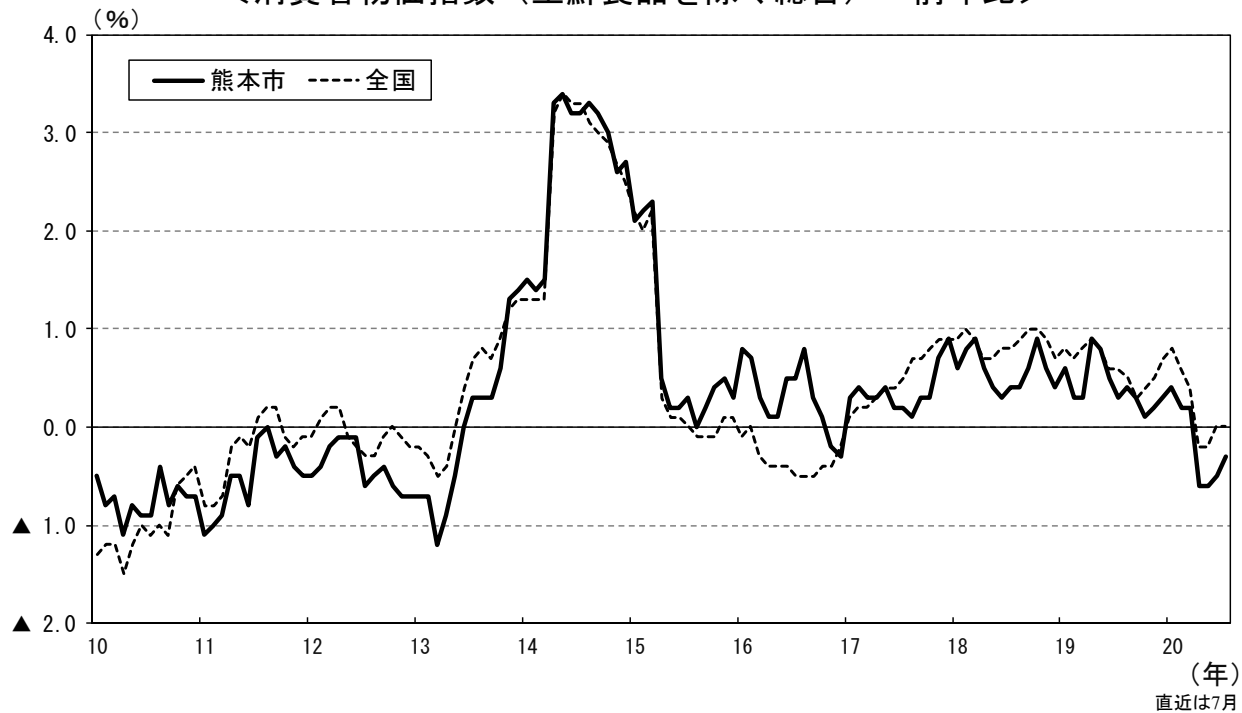
＜雇用者所得（事業所規模5人以上）・前年比寄与度＞



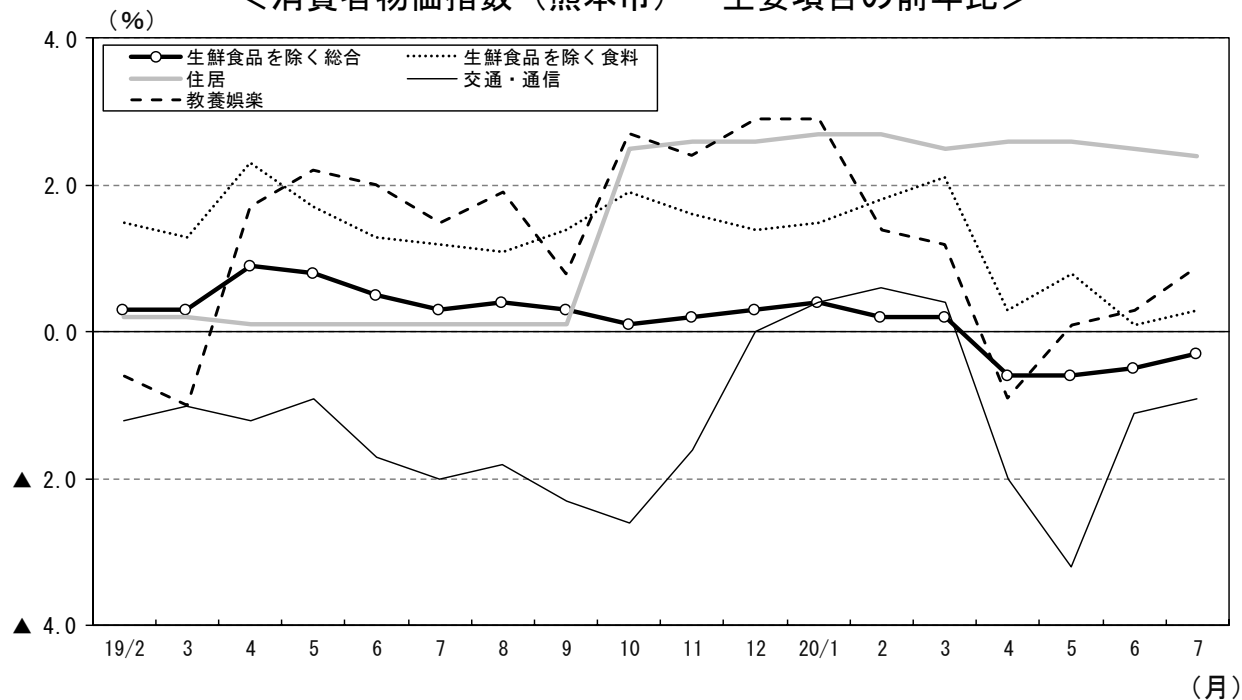
8. 消費者物価

7月の消費者物価指数（熊本市、生鮮食品を除く総合、前年比）は、▲0.3%と、4か月連続で下落した。

＜消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）・前年比＞



＜消費者物価指数（熊本市）・主要項目の前年比＞



（注）2010年12月までは2005年基準、2011年1月～2015年12月は2010年基準、2016年1月以降は2015年基準。

（出所：総務省）

9. 預金・貸出金、貸出約定平均金利

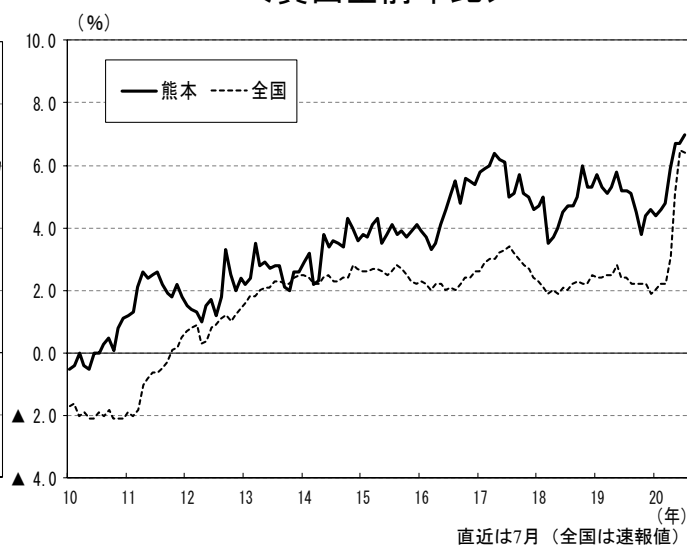
7月の預金（実質預金＋譲渡性預金）動向をみると、個人預金や法人預金を中心に前年を上回った（前年比：熊本県＋6.1%、全国＋8.3%）。

貸出金は、新型コロナウイルス感染症に伴う資金需要を背景に、前年を上回った（同：熊本県＋7.0%、全国＋6.4%）。この間、個人向けも住宅ローンを中心に増加している。

貸出約定平均金利（総合、ストックベース）は、1.017%と前月を上回った。

＜預金（実質預金＋譲渡性預金）前年比＞

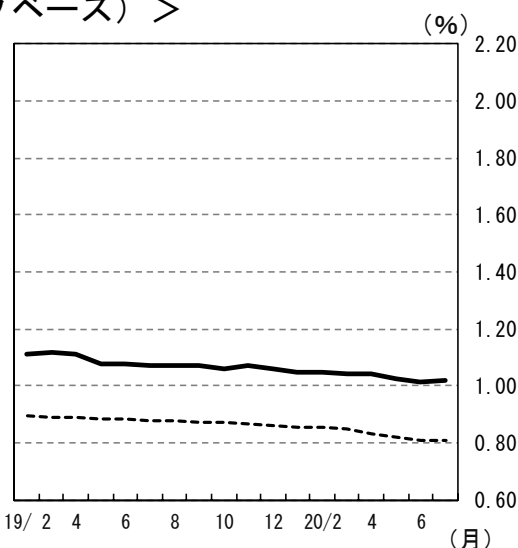
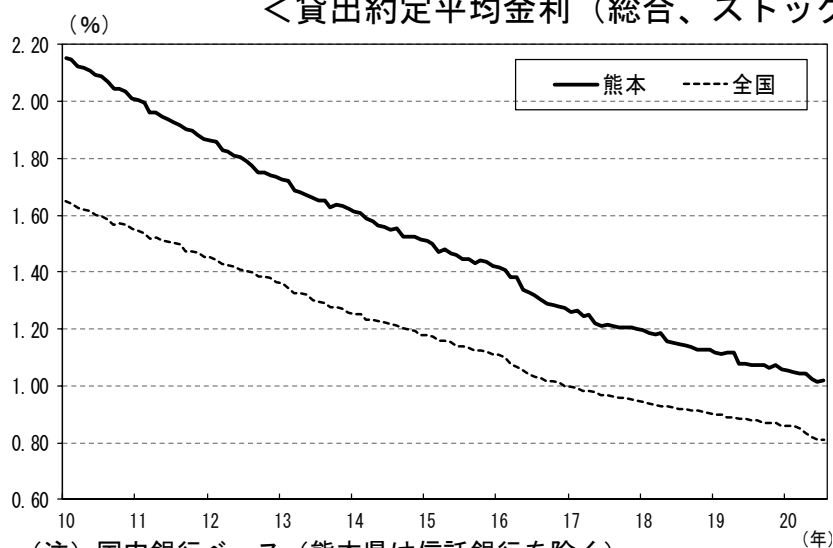
＜貸出金前年比＞



（注1）実質預金＝表面預金－切手手形。

（注2）熊本県は、預金・貸出金ともに銀行（ゆうちょ銀行を含まない）・信用金庫・信用組合の合計で、末残ベース。全国は預金が3業態（都銀・地銀・地銀Ⅱ）計、貸出金が国内銀行計で、いずれも平残ベース。

＜貸出約定平均金利（総合、ストックベース）＞



（注）国内銀行ベース（熊本県は信託銀行を除く）。

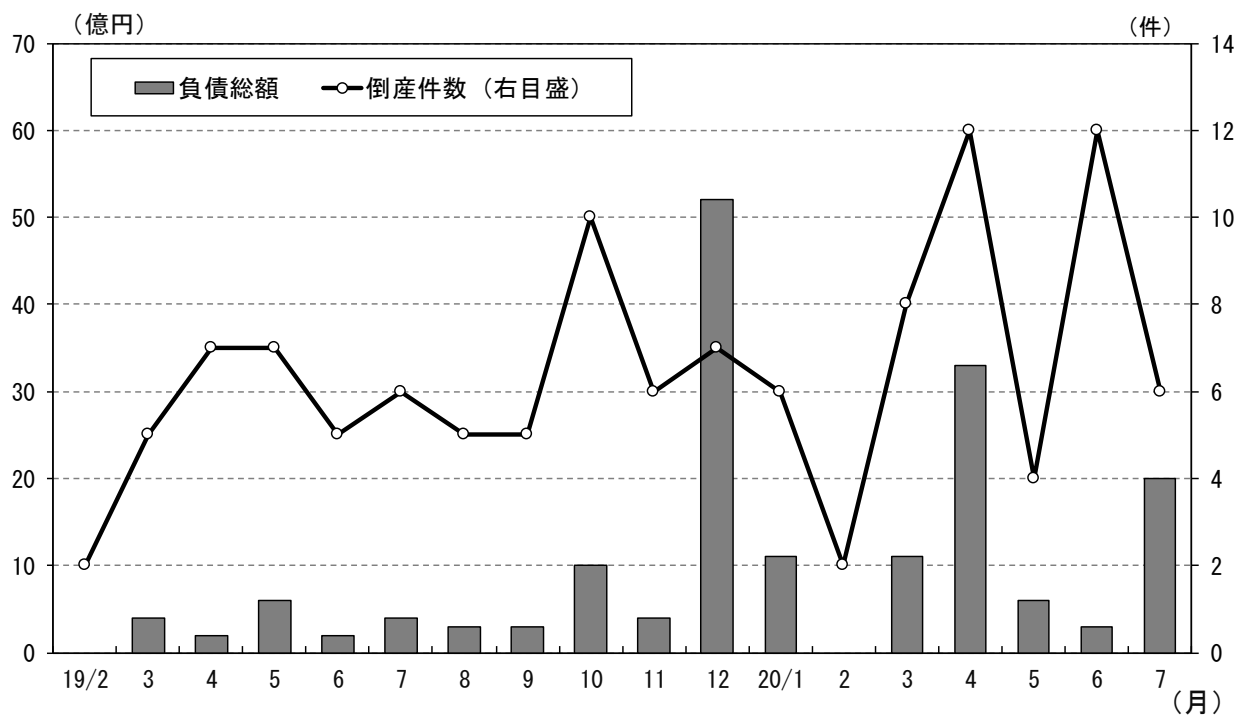
（出所：日本銀行、日本銀行熊本支店）

直近は7月

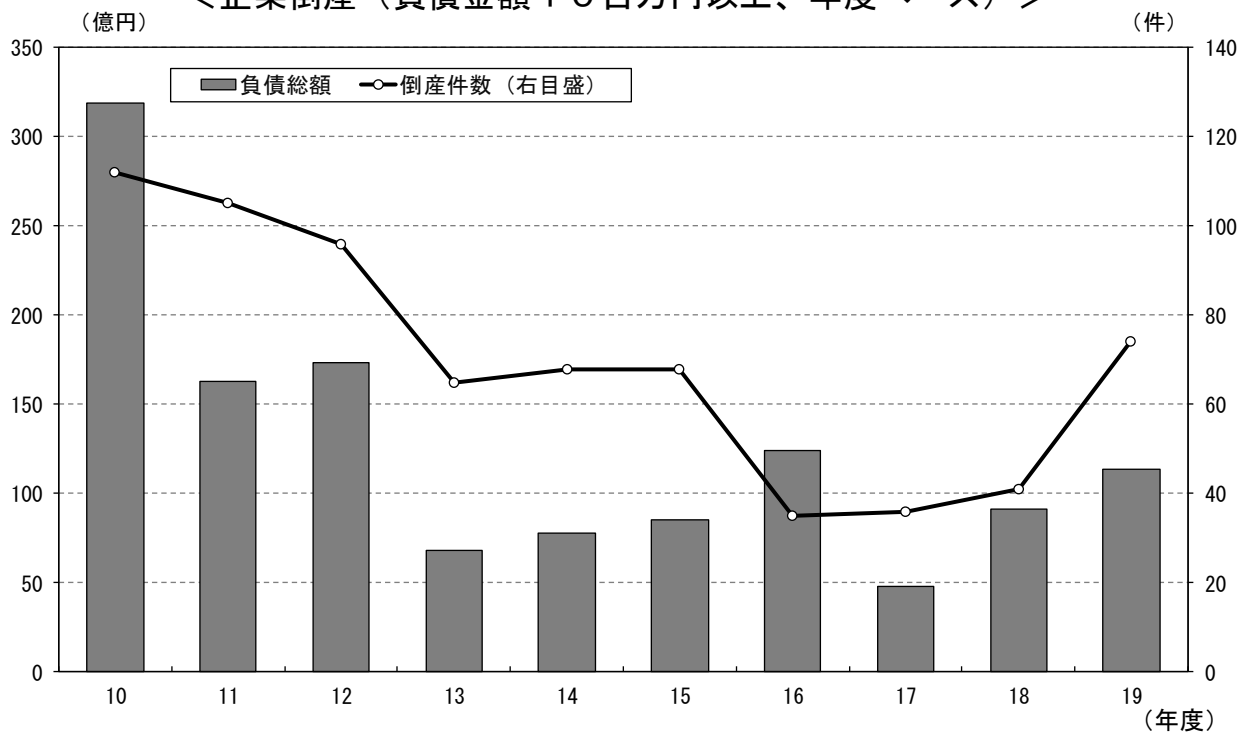
10. 企業倒産

7月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数は前年並みとなった一方、負債総額は前年を上回った。

＜企業倒産（負債金額10百万円以上）＞



＜企業倒産（負債金額10百万円以上、年度ベース）＞



(出所：東京商工リサーチ)

以 上